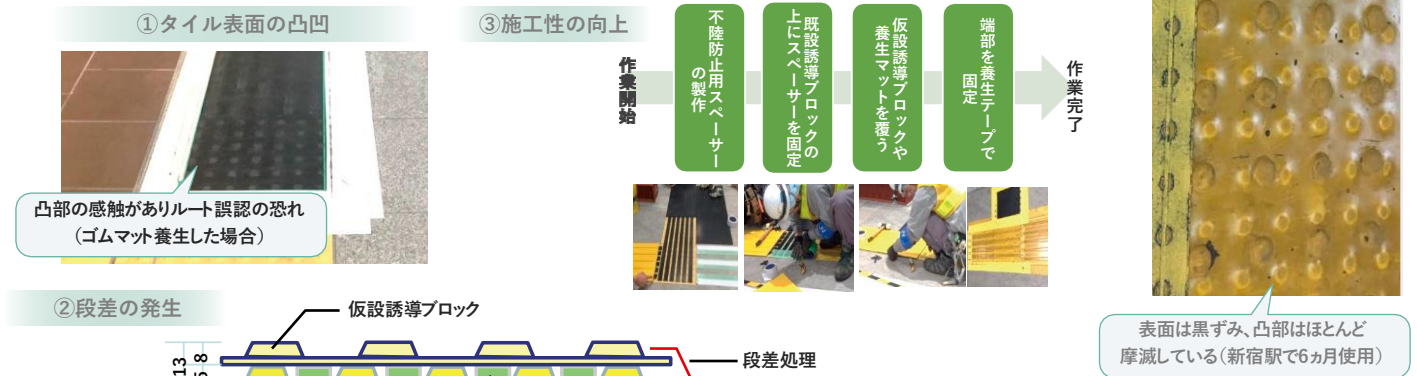


仮設誘導ブロック・養生マット

開発経緯

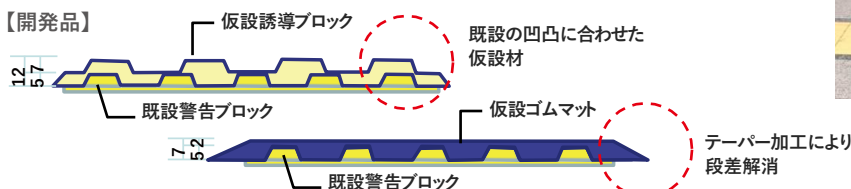
● 鉄道施設の改良工事において、通路切替等に伴いバリアフリールートの変更が複数回行われるが、以下の課題がある。

- 1 既設の誘導・警告ブロックを仮設材で覆っても歩行時に凸部の感触が残ってしまう
- 2 既設の誘導・警告ブロックを仮設材で覆った際に、仮設材の厚みによる段差が生じる
- 3 夜間の限られた時間内で施工するにあたり、施工性の向上を図る必要がある
- 4 長期間設置しても摩耗しないように耐久性の向上を図る必要がある



特長

- 1 仮設材の裏側に既存の凸部に合わせた凹みを設け、パズルのようにフィックス
- 2 端部にテーパを設けて躓き防止措置を実施。
- 3 素材(ゴム)の配合を見直し耐久性が向上 (新宿駅等で実証済)
- 4 施工性・耐久性向上よりランニングコストがコストダウン



採用実績

- JR東日本: 新宿駅

知的財産権

- 特願2018-000362

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 東京建設PMO 建築戦略 03-3493-1831 (代表)
製造・販売	株式会社ニチマンラバーテック 03-5824-0045